

### 《3》 審判委員会と審判員：

－競技は、審判委員会の管理のもとで実施する。同委員会は総審判長1名と東京都連盟役員からなる監査委員で構成する。

－審判業務は、審判長4名、執行審判員20名、套路審判員8名と業務審判員約20名で実施する。各審判員は、日本連盟公認審判員のなかから審判委員会が委嘱する。

### 《4》 競技ルール：

－「全日本選手権大会」団体競技種目の競技については第33回全日本武術太極拳選手権大会の競技ルールに準じて行う

－ねんりんピックについては、第29回全国健康福祉祭・ねんりんピック長崎2016の競技ルールに準じて行う

### 《5》 服装規定：

－全日本選手権大会種目に出場する選手の服装は、原則として、第33回全日本選手権の服装規定に準じるものとする。各団体の責任者は、出場者に対して、この服装規定を順守した服装で出場するように徹底のこと。

但し本大会において第34回全日本選手権大会の東京都代表に選抜された選手が、第34回全日本選手権大会に出場する際は第34回全日本選手権大会の服装規定を十分確認のうえ出場すること。

#### <第33回全日本選手権大会・服装規定(抜粋)>

- 1) 「団体競技部門」出場者をのぞく全員がゼッケンを着用する。
- 2) 第26回大会より、服装規定が一部変更となり、下記の種目に出場する選手は統一デザインユニフォームを着用しなければならない。

「規定競技部門」(ジュニア太極拳2、ジュニア太極拳1をのぞく全ての種目)

総合太極拳A、B、同C、24式太極拳A、同B、同C

「自選競技部門」

太極剣・刀、48・88式太極拳、楊式太極拳、陳式太極拳、呉式太極拳、孫式太極拳

その他の競技部門に出場する選手の服装は自由。ただし、文字・凶案・絵などは不可。また、上着の丈は膝丈までの長さとする。

- 3) 統一デザインユニフォーム(太極拳用)のデザインは別紙デザイン画と仕様書に基づき選手各自が制作するか専門商社等に制作を依頼して購入して下さい。尚、制作の際は、以下の点に注意すること。

色：A、B、C3種類(別紙参照)とも色は自由。但し上着とパンツは同じ色とする。各種類とも、刺繍、スパンコール、グラデーションなどの装飾や色変わりは不可。BのパイピングおよびCの脇・袖内側切替は別色可。但し、別色は一色とし、複数色は不可。

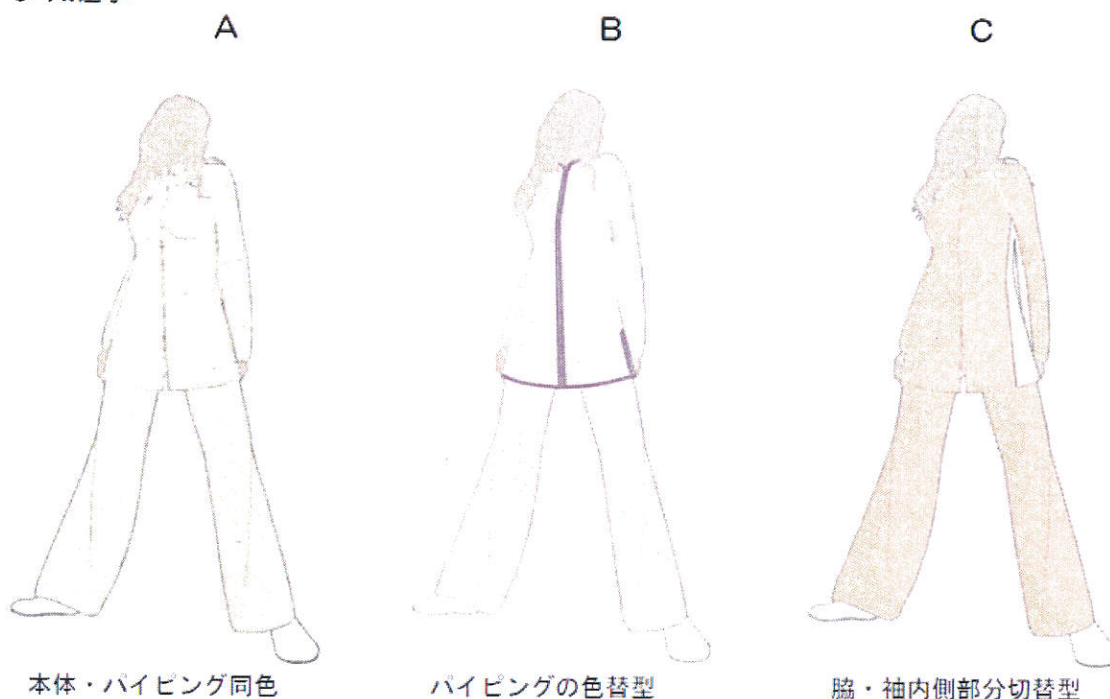
上着：ファスナーによる前開き式とする(ファスナーは、上下全面使用でも、上部半分使用でも可)。右側寄り、または左側寄りの偏開き方式は不可。チャイナボタン、中国組紐ボタンは禁止する。

－ねんりんピック選抜の服装規定について、2016年ねんりんピック長崎大会より下記の服装規定が適用されるため、本大会においても適用することとする。

## 第24回東京都武術太極拳選手権大会 服装規定資料

### < 競技用ユニフォーム デザイン >

#### ● 太極拳



\* 3種類とも色は自由、ただし刺繍、スパンコール、グラデーションなどは不可

統一デザインユニフォーム(太極拳用)のデザインは別紙デザイン画と仕様書に基づき選手各自が制作するか専門商社等に制作を依頼して購入して下さい。尚、制作の際は、以下の点に注意すること。

色 : A、B、C3種類(上図参照)とも色は自由。但し上着とパンツは同じ色とする。各種類とも、刺繍、スパンコール、グラデーションなどの装飾や色変わりは不可。

BのパイピングおよびCの脇・袖内側切替は別色可。但し、別色は一色とし、複数色は不可。

上着 : ファスナーによる前開き式とする(ファスナーは、上下全面使用でも、上部半分使用でも可)。右側寄り、または左側寄りの偏開き方式は不可。チャイナボタン、中国組紐ボタンは禁止する。